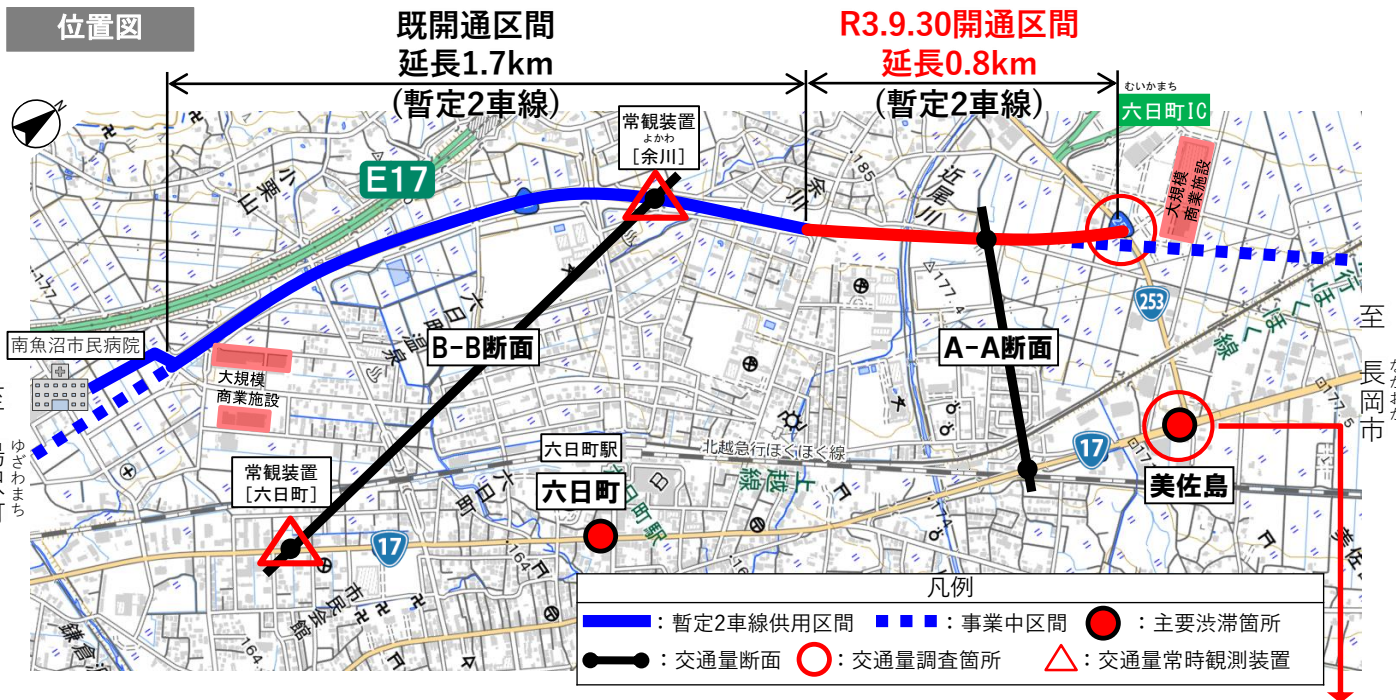
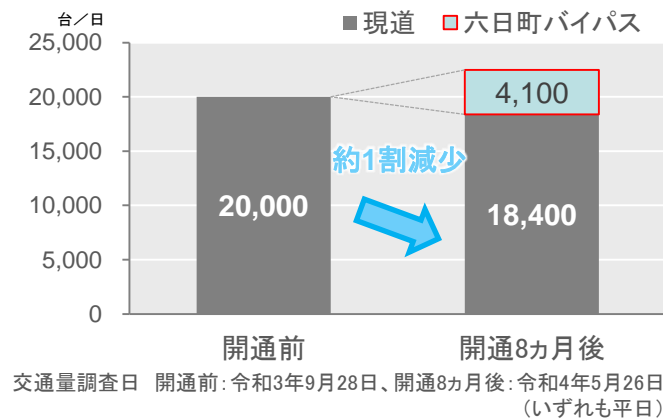


## 【六日町バイパス・現道区間の交通量】

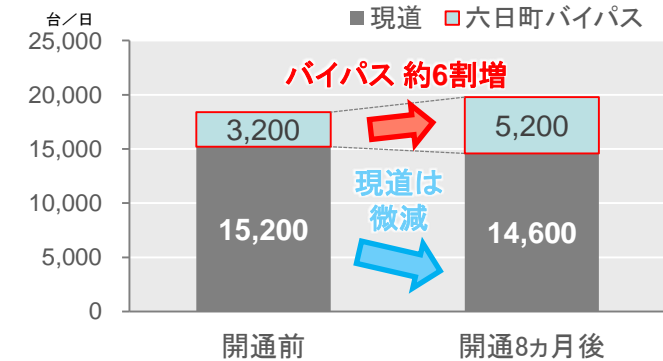
- ▶開通区間の交通量は、約4,100台/日となり、現道の交通量が約1割(約1,600台)減少しました。
- ▶バイパスの部分開通により、主要渋滞箇所[美佐島交差点]の交通渋滞が緩和されました。
- ▶既開通区間(B-B断面)のバイパス部交通量は、約6割(約2,000台)増加しました。
- ▶高速ICやバイパス沿線商業施設等へのアクセス性が向上し、バイパスの利用が促進されました。



## 【開通区間(A-A断面)の交通状況】

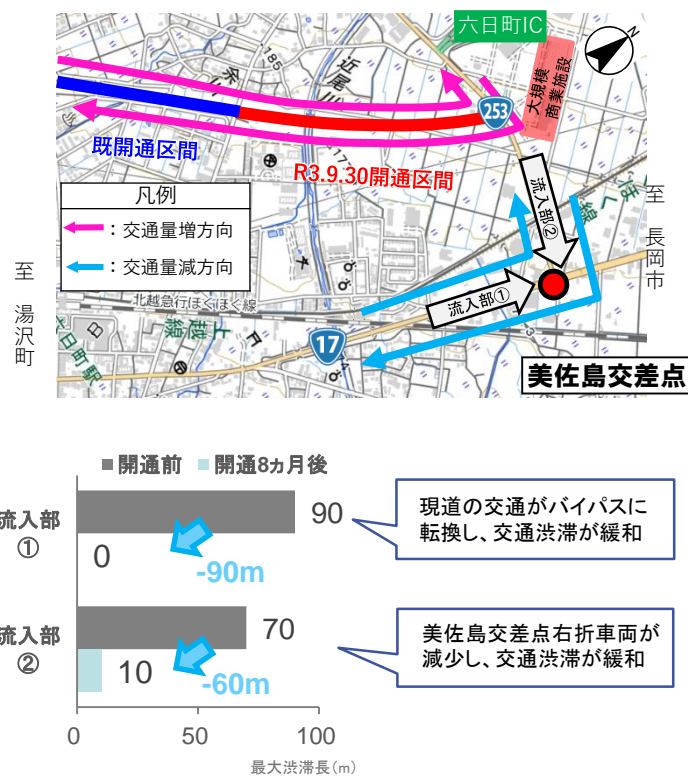


## 【既開通区間(B-B断面)の交通状況】



データ典拠 交通量常時観測装置(余川、六日町)  
開通前: 令和3年9月平日平均、開通8ヵ月後: 令和4年5月平日平均

## 主要渋滞箇所[美佐島交差点]の交通渋滞が緩和



渋滞長調査日 開通前・8ヵ月後ともに交通量調査日と同じ

# 整備効果

## 南魚沼地域の救急医療活動を支援

- ▶ みなみうおぬま南魚沼市民病院(第二次救急医療機関)は、第三次救急医療機関である魚沼基幹病院と地域医療連携ネットワークを構築しています。
- ▶ バイパスの部分開通により、六日町ICへのアクセス性が向上し、南魚沼市民病院から魚沼基幹病院へ重症患者等を救急搬送する際の搬送環境が改善され、安全安心な地域づくりに貢献しています。

### 南魚沼市民病院 H27.11開院

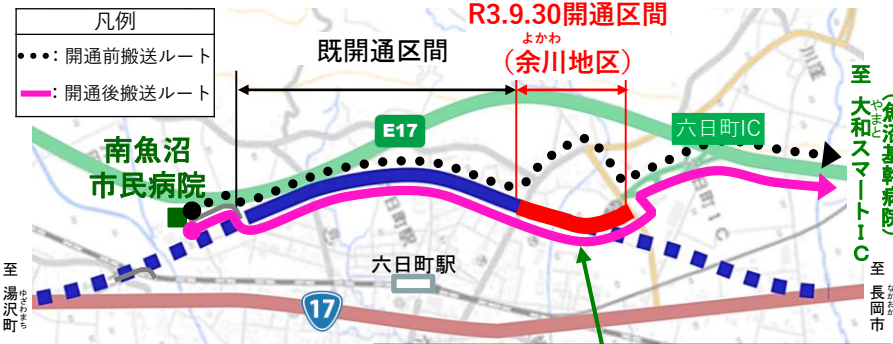


第二次救急医療機関

### 魚沼基幹病院 H27.6開院



高度先進医療、救急医療、災害時医療を担う、第三次救急医療機関



### 消防関係者の声

搬送時、生活道路等を通行せずに六日町バイパスを利用して六日町ICへアクセス

- ◆ 開通前は、主要地方道等で六日町ICまでアクセスしていましたが、特に冬期間は堆雪により幅員が狭く、大型車も多いため救急搬送に気を使っていました。
  - ◆ 余川地区の部分開通後は、道路が広いので、搬送時の搬送環境が改善し、車内での応急処置もしやすくなりました。
- ※南魚沼消防本部へのヒアリング結果 (R4. 6)

# 整備効果

## 冬期交通の安全性・信頼性の向上

- ▶ 豪雪地域である当該地域では、市街地部を通過する現道区間において路肩の堆雪を運搬排雪する必要があり、これによる交通渋滞が発生していました。
- ▶ 十分な路肩を確保した六日町バイパスの部分開通により、冬期交通の安全性・信頼性が向上するとともに、現道区間の運搬排雪作業に伴う交通渋滞が緩和されました。

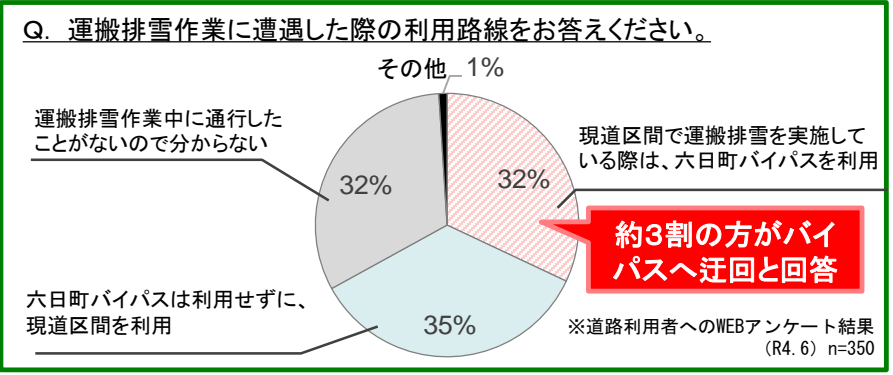


開通区間の冬期道路状況 [令和4年1月18日]



片側交互通行時の渋滞緩和 至湯沢町

### 道路利用者の声



### 除雪業者の声

- ◆ 六日町バイパスの部分開通により、ダンプトラックが排雪場所へスムーズに行くことができました。
  - ◆ 片側交互通行実施時の交通渋滞も少なくなったと感じています。
- ※除雪業者へヒアリング結果 (R4. 5)

現道区間における運搬排雪作業状況 [令和4年1月14日]